

《舞踊公演データ記入用紙》(2018年10月18日記入)

公演名 日生劇場ファミリーフェスティヴァル2018 ダンス×人形劇「エリサと白鳥の王子たち」

公演日 2018年7月28日(土) 11:00 開演／会場名 日生劇場

2018年7月28日(土) 14:30 開演／会場名 日生劇場

2018年7月29日(日) 11:00 開演／会場名 日生劇場

2018年7月29日(日) 14:30 開演／会場名 日生劇場

入場料 S席大人 4,000円 S席子ども 2,000円 A席大人 3,000円 A席子ども 1,500円

※子ども料金は3歳以上中学生以下が対象

上演作品 ダンス×人形劇「エリサと白鳥の王子たち」 振付：広崎うらん

出演者（添付したチラシまたはプログラムに変更なし）

辻田暁・齊藤悠・鈴木ほのか・宮川愛一郎・柴一平・伊藤壮太郎・花島玲・松本ユキ子・人徳真央・
加藤哲史・鈴木珠美・鶴・鶴家一仁・谷須美子(28日11:00・14:30/29日14:30)・成平有子(29日11:00)

スタッフ（添付したチラシまたはプログラムに変更なし）

脚本：長田育恵（てがみ座） 演出：扇田拓也 振付：広崎うらん

舞台美術・人形美術・衣裳デザイン：乗峯雅寛 照明：鈴木尚美(A.S.G) 音響：遠藤宏志(アコルト)

演出助手：石内詠子 舞台監督：蒲倉潤(アートクリエイション) 劇中曲作曲：阿部海太郎

人形造形：高橋ちひろ(人形劇団ひとみ座) 人形製作進行：小倉悦子(人形劇団ひとみ座)

人形操演指導：伊東亮(人形劇団ひとみ座)

その他（上記以外の項目や特記事項など）

特になし

※公演に関する問い合わせ先

名前 岩崎真美(日生劇場企画制作部)

連絡先 ☎: 03-3503-3122 fax: 03-3581-3293

mail: m.iwasaki@nissaytheatre.or.jp HP: <http://www.nissaytheatre.or.jp>

住所: 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1

日生劇場開場55周年記念 日生劇場ファミリーフェスティヴァル2018



日生劇場オリジナル

にんぎょうげき
ダンス×人形劇

エリサと はく ちょう おう じ 白鳥の王子たち

原作:H.C.アンデルセン

脚本:長田 育恵
(てがみ座)

演出:扇田 拓也

振付:広崎 うらん

7/28±29日

11:00 / 14:30 開演

日生劇場
NISSAY THEATRE

イラストレーション:いわにしまゆみ

まも マナーを守ろう♪

お上演中、お子様が泣いたり、お声を立てたりされた場合
ロビーのモニターテレビをモニターになりながらお休みください。
お客様内の録音・録画はご遠慮ください。



日生劇場 ファミリーフェスティバル2018

ダンス×人形劇		クラシックコンサート		伝統芸能		バレエ	
エリサと白鳥の王子たち		アラジンと魔法のランプ		ニッセイ親子歌舞伎		ドラゴンクエスト	
公演日	開演時間	公演日	開演時間	公演日	開演時間	公演日	開演時間
7月28日(土)	11:00	8月4日(土)	11:00	8月10日(金)	11:00	8月24日(金)	11:00
7月29日(日)	14:30	8月5日(日)	15:00	8月11日(土・祝)	11:00	8月25日(土)	15:00
				8月12日(日)	15:00	8月26日(日)	

（主催・企画・制作）公益財団法人ニッセイ文化振興財団【日生劇場】

（後援）東京都 埼玉県教育委員会 東京都私立幼稚園連合会 東京私立初等学校協会 東京都公立小学校長会 一般社団法人東京都小学校PTA協議会
一般財団法人東京私立中学高等学校協会 東京都公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会 東京都国公立幼稚園・こども園長会

（公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 横浜市立小学校長会 川崎市立小学校長会

（協賛）日本生命保険相互会社



（助成）文化庁 文化芸術振興費補助金（劇場・音楽室等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会

スターダンサー・バレエ団

バレエ ドラゴンクエスト

～日生劇場版～

日生劇場に
初登場！

国民的RPG「ドラゴンクエスト」とスターダンサー・バレエ団の

コラボレーションによって誕生したバレエ「ドラゴンクエスト」。

オリジナルストーリーで描かれる感動のラストは必見！

さあ、一緒に冒険の旅に出よう！

—白の勇者／黒の勇者—



池田 武志



加藤 大和



高谷 遼



林田 翔平

指揮：田中 良和

管弦楽：アトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ

出演日時	白の勇者	黒の勇者
24日(金)	午前 林田 翔平	池田 武志
	午後 加藤 大和	高谷 遼
25日(土)	午前 高谷 遼	加藤 大和
	午後 池田 武志	林田 翔平
26日(日)	午前 林田 翔平	池田 武志
	午後 加藤 大和	高谷 遼

音楽：すぎやまこういち

演出・振付：鈴木 稔

舞台美術・衣裳：ディック・バード

台本：河内 連太

(堀井 雄二原作による)

照明：足立 恒

舞台監督：森岡 望

バレエ・ミストレス：小山 恵美

総監督：小山 久美

協力：株式会社スクウェア・エニックス

© ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/SQUARE ENIX All Rights Reserved.



NISSAY THEATRE

○日生劇場

T100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1

TEL.03-3503-3111

<http://www.nissaytheatre.or.jp/>

ようこそ日生劇場へ

本日は、ダンス×人形劇「エリサと白鳥の王子たち」にお越しいただき、ありがとうございます。本日ご覧いただく作品は、アンデルセンの童話「野の白鳥」を原作として、コンテンポラリーダンスと人形劇とを組み合わせて作り上げた、日生劇場オリジナルの舞台作品です。

主人公のエリサは、魔女の呪いによって、一瞬にして家族との幸せな生活を奪われてしまいます。生まれた国を追い出されてしまったエリサは、お兄さんたちにかけられた呪いを解くために、自分の身の危険をかえりみず、つらい試練に耐える決心をします。果たしてエリサは、魔女の呪いを解き、ふたたび幸福を取り戻すことができるのでしょうか…。

美しい踊りと音楽、そして人形と人間の身体とが織り成す幻想的な世界の中で、ひとりの少女の勇気が引き起こす奇跡の物語を、たっぷりとお楽しみください。

2018年7月

公益財団法人ニッセイ文化振興財団

理事長 武田 嘉和



スタッフ

脚 本



あさだ いくえ
長田 育恵
(てがみ座)

東京生まれ。早稲田大学卒業後、井上ひさし氏に師事。2009年に劇団「てがみ座」を旗揚げ。心の機微を見つめる纖細な言葉、丹念に織り上げられた構成でスケールの大きな物語を描きだす筆力が注目されている。2015年『地を渡る舟』で文化庁芸術祭賞演劇部門新人賞、2016年『蜜柑とユウウツー茨木のり子異聞』で鶴屋南北戯曲賞受賞。近年はホリプロ、文学座、劇団民藝、青年座など、てがみ座以外の戯曲も執筆、活動の場を広げている。

演 出



せんだ たくや
扇田 拓也

東京都出身。演出家、俳優。日本大学芸術学部演劇学科在学中の1996年に、自身が脚本・演出を手掛ける劇団「ヒンドゥー五千回」を旗揚げ、2018年4月の最終公演を機に、劇団名を「空觀」に改め再起動。近年は、劇団「てがみ座」をはじめ、「エレファンタ・ソング」など、外部への活動を積極的に行う。日生劇場では、昨年の「ムーミン谷の夏まつり」に続いて演出を担う。

振 付



ひろさき
広崎 うらん

3歳の時踊る喜びを知る。モダンダンス、バレエ、ジャズ、タップ、ヒップホップ、ソシアル、リンディホップ、アルゼンチンタンゴ、宫廷舞踊、民族舞踊などのダンスを学ぶ。現在はコレオグラファー、演出家として演劇、ミュージカル、オペラ、コンサート、TVなど様々なフィールドで活動中。2018年『密やかな結晶』『ムサシ』『ジキルとハイド』『アニメ2018』振付、NHKファンタジー大河『精霊の守り人』では、全編にわたり所作と踊りのクリエイションを担当した。

舞台美術 人形美術 衣裳デザイン



のりみね まさひろ
乗峯 雅寛
(文学座)

埼玉県出身。多摩美術大学卒業。文学座に所属し、演劇を中心に多くの装置、衣裳、人形デザインを手がける。2007年、文化庁新進芸術家海外研修員として渡英。読売演劇大賞最優秀スタッフ賞他、受賞多数。都立総合芸術高校市民講師、東京藝術大学非常勤講師。日生劇場では、「ぼくは王さま」「とびだせ★孫悟空」「ムーミン谷の夏まつり」など多くの作品を手がけている。

スタッフ

照明



すさき なおみ
鈴木 尚美
(A.S.G.)

1989年、(株)A.S.G.に入社。その後オペラ、ミュージカル、演劇など様々な分野の照明デザインを学ぶ。日生劇場ミュージカル人形劇には、2005年「ちいさな山神スズナ姫」シリーズから参加している。近年の作品に、演劇集団円『十二夜』、プッテーニオペラ研究会『西部の娘』がある。

劇中歌作曲



あべ うみたろう
阿部 海太郎

作曲家。自由な楽器編成と親しみやすい旋律、フィールドレコーディングを取り入れた独特で知的な音楽世界に、多方面より評価が集まる。舞台、テレビ番組、映画、他ジャンルのクリエイターとの作品制作など幅広い分野で作曲活動を行う。2018年夏には音楽を手がけた長編アニメ映画『ペンギン・ハイウェイ』(原作:森見登美彦 監督:石田祐康)が公開となる。

人形造形



たかはし
高橋 ちひろ
(人形劇団ひとみ座)

多摩美術大学テキスタイル学科卒業、2003年ひとみ座入団。これまでに、「We are Born」PV(ももいろクローバーZ)、「ムーミン谷の夏まつり」(日生劇場)、「イヌの仇討」(人形劇団ひとみ座)などの人形美術を手掛ける。2019年3月には、人形美術を担当するひとみ座70周年記念公演「どろろ」の上演が控えている。

人形劇団ひとみ座

1948年発足。人形劇専門劇団として活動を続け、2018年で創立70周年を迎える。子どもを対象にした作品をはじめ、シェイクスピア作品から漫画やサブカルチャーまで、幅広い人形劇作品の創造と普及を目指して活動している。代表作に「ひょっこりひょうたん島」「リア王」など多数。日生劇場ファミリーフェスティバルでは、2005年からミュージカル人形劇「ちいさな山神スズナ姫」「ぼくは王さま」「とびだせ★孫悟空」各シリーズや「ムーミン谷の夏まつり」に出演。

公式ホームページ:<http://hitomiza.com/>

音響



えんどう こうじ
遠藤 宏志
(アコルト)

1990年青山劇場に入る。様々な音響プランを学び、2016年合同会社アコルト設立。3名の仲間とともに新たな作品作りに取り組んでいる。代表作に「ぼくは王さま」シリーズ、「とびだせ★孫悟空」シリーズ、「ムーミン谷の夏まつり」(以上日生劇場)。近年の作品に、オペラ「ジャパン・オルフェオ」(鶴岡八幡宮)、ミュージカル「魔女の宅急便」(新国立劇場)がある。

ヘアメイク



かじた
梶田 キヨウコ
(レサンクサンス)

レサンクサンス主宰。1986年よりフリーのヘアメイクアップアーティストとして、前田美波里専属(6年間)、島倉千代子専属(2年間)他をつとめ、舞台・ミュージカル・撮影・ブライダル等でも活躍。2000年にヘアメイク事務所レサンクサンスを設立。後進の育成にも取り組み、講師としても活動している。2003年に演出家宮城聰と出会い、以来『マハーバーラタ』他、国内外で上演されたほと

ばすべての宮城演出作品でヘアメイクを手がける。近年では、江戸を舞台とする邦楽ミュージカルでの髪結いや、テレビ番組にも活躍の場を広げている。

人形製作進行



おぐら えつこ
小倉 悅子
(人形劇団ひとみ座)

短大卒業後、保育士をしている時に園児達と一緒に人形劇を観て、人形劇の世界に魅了される。ひとみ座が40周年の時入団。人形役者を経てアトリエに所属。映像関係やCM等の人形操作、美術スタッフとして多数参加。

人形操演指導

伊東 亮(人形劇団ひとみ座)

演出助手: 石内 謙子

舞台監督: 蒲倉 潤(アートクリエイション)

舞台監督助手: 熊代 浩児

野村 八千代

三宅 周(アートクリエイション)

森岡 千清(アートクリエイション)

美術アシスタント: 稲葉 賀恵(文学座)

小原 まどか(文学座)

衣裳製作・操作: (有)ミイン

人形製作: 人形劇団ひとみ座アトリエ

仮面製作(ラミア): 中台 あきお

大道具: (株)俳優座劇場舞台美術部

照明操作: (株)A.S.G.

音響操作: 合同会社アコルト

舞台技術: 日生劇場技術部

主催・企画・制作: 公益財団法人ニッセイ文化振興財団(日生劇場)

あらすじ

はるかかなたの国。王女エリサは、やさしい王さまと11人の兄とともに幸せい暮らしていました。ところが、ある日、悪いお妃の魔法によって、11人の王子は白鳥に姿を変えられ、エリサは国を追放されてしまうのです……。

新聞売り

処刑を知らせる号外売り



大僧正

異国の教会の長



公爵夫人・貴族たち

舞踏会に参加する貴族たち



女神

エリサを護き、見守る神



鈴木 ほのか

登場人物

衣装デザイン画：乗率 雅寛

エリサ

美しい心を持ち、困難に立ち向かう少女



辻田 晴

チャッピ

白オコジョ。
エリサの友だち



魔女(お妃)

エリサと王子たちに呪いをかける悪い魔女



王

エリサと11人の王子たちの父



白鳥の王子たち

エリサの11人の兄たち。
魔法で白鳥に変えられてしまう



ラミア

墓地に集う邪悪な魔女たち



7/28(土)11:00/14:30
7/29(日)14:30

7/29(日)14:30